

支援事例

商工会名	産山村 商工会	氏名	横田 淳	情報開示の可否	可
支援テーマ	販路拡大・販路支援	題名	商品開発における許可確認の重要性		

<支援企業の概要>

事業所名	志賀食料品店	従業員	0 人	創業/ 会社設立	創業日	1982年1月1日
業種	食品製造業	うち家族従業員	0 人		業歴	43年2ヶ月

○企業概要

大正6年頃に祖父母が産山村田尻地区で食料品小売店を開業し、昭和57年からはそれに加え、現在の事業主と母親とで豆腐製造販売を開始した。

産山村の最大の観光地である池山水源に向かう道沿いにあり、近隣には飲食店4店舗、他の豆腐製造業が1店舗ある村内でも観光客が多く訪れるエリアである。

食料品小売店は田尻地区内唯一で、日用品の取扱いもあり地域になくてはならないお店である。食品加工の主力商品は豆腐と油揚げで、これまでの長い営業により村内外に定評があり、水源目当てのお客さんも立ち寄って買って帰る。

○支援のきっかけ（相談内容）・支援前の課題

これまで豆腐や油揚げを製造販売しており副産物の豆乳についてはペットボトル等に入れておまけで配布していた。余った豆乳で「豆乳プリン」も作ってご近所に配っていたが、過去も販売のため保健所に掛け合ったが菓子製造業が必要である旨の説明を受けた為、2種の許可を受けるための改装は作業場のスペース的にも資金的にも難しく、諦めていた。

今回、村の産山村ブランド周知活動支援補助金の募集に併せ村内産品の商品を増やすべく、これまで販売できなかった「豆乳プリン」について再度販売を目指したいとの相談を受けた。

課題としては保健所の許可を受けるための改装、外へ販売するためのラベル等の外装の作成があげられる。

○支援内容および支援後の状況・効果

食品製造業の許可の内容から精査を行い、豆乳プリンは通常の菓子ではなく副産物を固めたものであることが重要なポイントであった。令和3年6月改正の豆腐製造業には製造に伴う副産物を主原料とする食品を製造する営業が含まれており豆腐製造業の範囲で可能であることが分かった。保健所に再度確認を行ったところ菓子製造業の取得の必要が無くなり、改装も行わなくて済んだ。一方で、ラベル等の外装の作成や消費期限の食品検査については村の産山村ブランド周知活動支援補助金を活用し、開発の事業者負担の軽減ができた。

豆乳プリンが販売できるようになり、贈答や土産物としての商品が増え、売上が増加した。

○今後について（目標や課題など）

新開発の豆乳プリンは添加物が少なく、自然派には受けるものの消費期限の短さから村外への販路開拓が困難である。ある程度の消費期限を持たせ、外販できるような商品開発を次のステップとして取り組んでいく。